



## 毎年2月最終日は世界希少・難治性疾患の日 (Rare Disease Day/RDD)

**RDD**  
(アールディディ)  
ってなあに？

世界中の希少・難治性疾患の患者数をあわせると3億人と推定されます。しかし、一疾患ごとの患者数が少ないため病気についてわからないことも多く、診断機会や治療法、関係者や周囲からの理解などが不足している現状があります。

世界希少・難治性疾患の日 (Rare Disease Day, RDD) は、世界中の希少・難治性疾患の患者さんやご家族にとって、より良い診断や治療による生活の質 (QOL) の向上を目指す活動です。うるう年の「Rareな日」にあわせ、毎年2月最終日が定義日となっています。

2008年からヨーロッパでスタートした本領域世界最大の社会啓発イベントであり、日本でもその趣旨に賛同して2010年から全国で開催し、患者や家族同士、関係者らがつながる機会をつくっています。

**RDD**  
(世界希少・難治性疾患の日)  
**2025 in 岐阜**

参加費無料 ※事前申込み制

【企画】 **RDD2025 in 岐阜として患者会活動の紹介等とぎふ音楽療法協会による演奏会**

**2月16日(日)**

場所／岐阜県図書館

13:00～14:35 患者会活動紹介・交流会(2階研修室)

13:45～14:45 ぎふ音楽療法協会による活動紹介・演奏(1階多目的ホール)

(10:30～14:35 患者会紹介のパネルを2階研修室で展示しています。)

【難病図書フェア】 **岐阜県下、公共図書館・大学図書館で難病関連図書の展示**

【申込み】 特定非営利活動法人 岐阜県難病団体連絡協議会 TEL・FAX: 058-273-3310 Eメール: gifunanbyo.kng@gifu.email.ne.jp 【後援】 岐阜市

**36館の  
公共・大学図書館による  
難病図書フェア**

**RDD JAPAN**

主催: RDD Japan事務局 【後援】 厚生労働省、一般社団法人日本難病・疾病団体協議会 (JPA)、認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク、日本医師会、日本製薬工業協会、国立研究開発法人日本医療研究開発機構、国立研究開発法人国立成育医療研究センター、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、日本人類遺伝学会、大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所、公益財団法人神戸医療産業都市推進機構、DIA Japan、Rare Disease International、欧州製薬団体連合会 (EFPIA Japan)、米国研究製薬工業協会 (PhRMA)、一般社団法人PPI Japan、全国医療的ケアライン、一般社団法人全国がん患者団体連合会、医療系産学連携ネットワーク協議会【申請中】

このポスターは赤い羽根共同募金の配分を受けて製作しました。